

東京工業大学「男女共同参画推進事業」

東京工業大学では、2008-2010 年度の女性研究者支援モデル育成プログラム（以下、プログラムという。）に採択されたことを契機に、「男性・女性の性差に関係なく、研究・教育・事務といった業務、および、学業を進めることができるように大学が支援する。」という観点で、男女共同参画推進センター（以下、GEC という。）が中心となって、様々な制度設計を行っている。

2008 年、プログラムの開始に当たり、全女性教員との面談で「業務・学業を進めるに際して男女の差があるとしたら何か？」と問いかけたところ、回答は以下のとおりであった。

- (1) 女性は育児・介護の役割を担うことが多く、研究・教育との時間配分が難しい。
- (2) 女性教員が少ないことが全体のバランスを崩している。

具体的には、①教員を採用する側の意識が女性採用を阻むのかもしれない。

②そもそも候補者になる理工系女性の人数が少ない。

これらの問題を解消するために、これまで行ってきて、成果を挙げていることについて、紹介する。

(1) の育児・介護は、女性だけでなく、家庭によっては男性が担う、または分担していることもあるため、女性職員に限らない支援を制度化する必要がある。2008 年度から、以下の2つの支援制度を行ってきており、学内に定着した。

アシスタント雇用支援は、育児・介護に時間を取られて教育・研究の時間を思うように作れない場合に、ルーチンワークを手伝ってもらえるアシスタントを雇用する際の雇用費の支援である。多くの大学に同様の制度があるが、本学では、当初から、介護も、男性も、事務支援も対象としている。利用者の2割が男性で、利用目的の1割が介護である。

ベビーシッター派遣支援は、発熱や病後で登園できないときや、休日にどうしても避けられない業務（学会、学生の発表練習など）がある際の、自宅または大学構内でのベビーシッター利用に対する支援である。教員では男性の利用が多く、学生の利用も少なくない。

その他、妊娠中、育児、介護について本学職員が利用できる制度を判りやすくまとめた冊子の作成・配布を行い、GEC がそれらについての相談窓口となっている。学長からのアナウンスだけでは効果が小さかった「会議の定時内終了厳守」については、今年度から各会議室にポスターを掲示するなどして、呼び掛ける。

(2) ①は、プログラム中の3年間で、繰り返し外部女性研究者の話を聴く機会を設けたことが功を奏したのか、採用側に「女性だからダメ」という意識はなくなった。本学中期計画にも新規採用教員中の女性割合の目標値が記載され、数年は増加した。(2) ②は、ホームページや公募案内で女性教員の応募を歓迎する旨を明示して、積極的な応募を呼び掛けている。しかし、依然として採用是非の俎上に上がる女性研究者が少なく、新規女性教員採用数は頭打ちである。根本的な対策を講じないとならない。本年スーパーグローバル大学創成支援に採択されたことが、対策を打ち上げる良い機会となると思われる。

さらに、(2) ②は、非常に長いスパンでの話だが、現在 13%である本学学生（学部・大学院合計）の女性割合をさらに増やすことが必要である。特に女子（中）高生向けには、アドミッションセンターが主催となって、理工系の面白さ、本学研究の興味深さを伝える企画・活動を継続している。この活動の鍵となる女子高校生理工学進学サポーター（本学在籍女子学生）のコーディネーターや具体的な企画は GEC が協力しており、GEC の事業の1つの柱となっている。GEC では、本年、本学女性卒業生にアンケート調査を行い、卒業後の進路、就業継続率などのデータをまとめている。医学部等の資格職業に直結する学部へ進む層を理工系進学に向かわせる材料の一つとなる事が期待される。

【連絡先】 東京工業大学 男女共同参画推進センター
TEL: 03-5734-7617 E-mail: mandw@jim.titech.ac.jp
URL: <http://www.gec.jim.titech.ac.jp/>



男性教員も女性教員も働きやすい東工大！ さまざまな環境整備を行っています

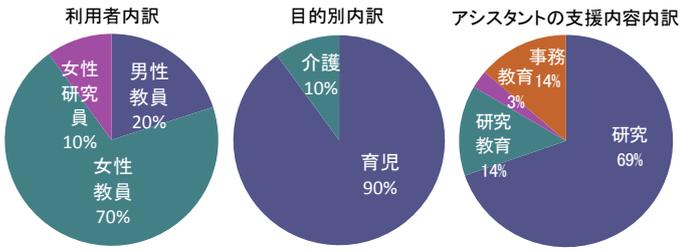
●研究・教育・事務アシスタントの雇用支援

育児・介護で時間をとられて、教育・研究に確保できる時間が少なくなる教員・研究員を対象に、アシスタント雇用経費を補助。

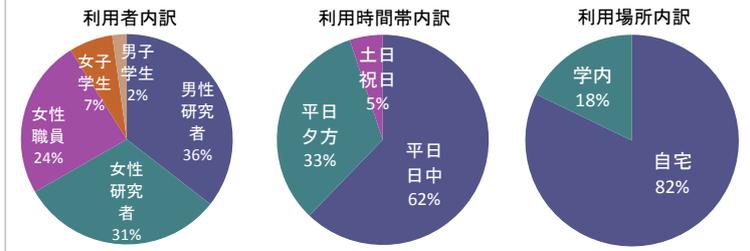
●ベビーシッター派遣支援（自宅・大学構内）

育児中の教職員・学生等を対象に、ベビーシッターを自宅または大学構内に派遣する費用の一部を補助。

利用実績：30名（H20年度～H26年度。延人数ではなく利用したことがある人。）



利用実績：45名、534件（H22年1月～H26年9月。延人数ではなく利用したことがある人。）



●産休・育休・介護休業にかかる代替非常勤講師

講義を担当していることによって、出産や育児を躊躇する、介護ができずに困った状況にある教員のために代替非常勤講師の業務委託費を支援。



東工大オリジナル育児支援マーク

●育児と介護のための支援案内パンフレット

いつどのような支援が受けられるのか、常勤・非常勤別に、時系列にわかりやすくまとめたパンフレットを配布。



女性研究者を増やすために、さまざまな層を応援しています

■女子高校生対象

●女子高校生のための研究室ツアー

ツアーガイド役の女子学生が、研究室を案内しながら、女子高校生に理工系の大学や研究の魅力伝える。



■女子学生対象

●すずかけガールズ交流会

他大学からの大学院進学者が多いすずかけ台キャンパスで、女子学生のネットワークづくりを目的に交流会を開催。

女性の友達が増え、また、異なる専攻の人と仲良くなることができ、非常に有意義でした。

●女子高校生理工系進学サポーター

東工大の女子学生が女子高校生の理工系進学をサポート。女子向けイベントで活躍。



■女性研究者対象

●学長と女性教員との昼食会

女性教員同士の交流の場として、学長主催の昼食会を開催。



●オープンキャンパス女子向け企画

「そこが聞きたい！東工大女子の今と卒業後」と題し、講演&グループ相談会を開催。



女子高校生向けイベントの感想

理系大学の女子は少ないと聞いて不安でしたが、楽しそうだし、通ってみたいになりました。

今まで工学系にはあまり興味がなかったのですが、説明を聞いているうちにとても面白いと思いました。

●東工大公募お知らせメール

登録をした女性研究者に、東工大の教員公募情報をメールで配信。



●女子学生対象の相談窓口

現役女子学生が東工大女性卒業生に、学習や進学・就職、人間関係について悩みなどを話せる窓口を同窓会組織に設置。

●東工大女性研究者・学生向けメールニュース

登録者に、女子学生や女性研究者対象の助成金や賞、各種制度、セミナー・イベント等を情報提供。

